

第3回 北かわち臯が丘高等学校 学校協議会

日時：平成28年1月22日（金） 15：30～17：00

場所：本校別館2階 ふれあい教室

内容：

1. 校長挨拶
2. 学校協議委員・事務局の自己紹介
3. 学校からの報告

○平成27年度 学校経営計画及び学校評価について

○平成27年度 学校教育自己診断結果について

4. 学校協議委員からの主な意見・質問

【質問】家庭学習を定着させるには、授業の中で、自分で勉強ができる力をつけることが大切。また、3年間系統立てて家庭学習への取組みをしているか。

【回答】「進路マップ」や実力テストの学校独自の振り返りを行っている。各教科で一定量の宿題・課題を出し、家庭学習を定着させられるよう工夫していきたい。

【質問】「学習形態や指導方法の工夫をしている」と答えた教師88%に対して、「子どもは授業が楽しいと言っている」と答えた保護者は28%であるが。

【回答】ただ楽しい雰囲気をめざして授業をするのではなく教科内容を伝えることに重点を置いている。しかし、教師の経験やさまざまな話をするすることで、生徒にほっとさせる、楽しいと思わせる時間を作る努力も必要。

【質問】18歳から選挙権が与えられるが、それに対してどんな取組みをするか。

【回答】社会科を中心に、知識・制度理解の取組みを行う。

【質問】行事への主体性を育むために、具体的に何を行っているか。

【回答】体育祭リーダー研修で、できるだけ生徒にルールを考えて決めさせるようにしている。現在、規律面で行事への取組み方を改定している過渡期であるため学校としてめざしたい方向性と生徒が思う行事のすり合わせが必要。

【質問】特別支援が必要な生徒にはどのような取組みをしているか。

【回答】学環PTをつくり情報共有し対応している。また、相談PTを週1回開いている。

【意見】図書館の利用率が前年度から改善されていない。PTAの予算でも本を購入しているが生徒が読まなければ無駄遣いになる。生徒の興味関心が移っているのなら、予算を図書室の整備や工夫に回すなど改善に向けて具体的に動くべき。授業で事前に課題を出し図書館で調べさせるなど、授業と図書室の連携をしてはどうか。自主的に本を読みに行くのを期待するのではなく、最初は強制的に図書室を利用させる環境を作ることも大切。